



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“ロータリーに輝きを”

RI会長
ゲイリー C.K. ホアン
2570地区ガバナー
坂本元彦

「行動, ACTION」

第2607例会 2014. 8. 6

—— 会員増強拡大月間 ——

天候 晴 (NO. 51-06)

会長 山川 荘太郎 幹事 高橋 弘

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 杉田君、塩野君

例会場: マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp



山川会長: 飯能・日高RCの公式訪問例会に沼崎補佐、地区役員の山城様、富士見の長根様、暑い中有難うございます。本日、坂本ガバナーのご教示を頂きたく宜しくお願い申し上げます。
清水会長: 本日は合同例会にさせて頂き感謝致します。入会3年未満の方の懇談会も無事終わり、ガバナーと直接お話し出来た事、嬉しく思っております。

◎例会変更のお知らせ

【ガバナー公式訪問】飯能・日高合同例会 ホテルヘリテージ飯能sta.

- ・点鐘 清水佳代子会長(日高)
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 川口職業奉仕委員
- ・ビジター 2014-15年度 国際ロータリー
第2570地区ガバナー
坂本元彦様(富士見)
第3グループガバナー補佐
沼崎正徳様(狭山中央)
山城盛様(富士見)
長根章浩様(富士見)
- ・記念卓話 坂本元彦ガバナー

◇狭山RC

- ・9/26(金) 公式訪問
- ・10/17(金) 19(日)親睦旅行
- ・10/31(金) 休会(定款6-1-C)
- ・12/5(金) 地区大会に振替
- ・12/19(金) 年末家族会
- ・12/26(金) 休会(定款6-1-C)

◇入間RC

- ・8/21(木) 会場変更 入間市中央公民館
- ・8/28(木) 納涼家族夜間例会
丸広さくら草ホール

【出席報告】無断欠席なし 馬場出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
60名	5名	55名	91.67%	86.67%

【会長報告】

【M U】

7/25 (第3G) 山川君

7/26 (地区) 山川君

8/2 (地区) 安藤君

【委員会報告】

◎米山記念奨学委員会 吉田(健)君

本日、委員長の土屋良一会員より特別寄付を頂きました(拍手)。

◎ロータリー財団委員会 間邊君

本日、マルチプル・ポールハリス・フェローとなる寄付を4名より頂きました。

山川荘太郎会員、和泉由起夫会員、中里昌平会員、高橋 弘会員です(拍手)。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

・坂本ガバナー様、沼崎ガバナー補佐様、地区役員山城様、富士見RC長根様、本日はようこそ。よろしく願い致します。

飯能RC一同・日高RC一同

・早退 大崎君

本日計46,000円、累計額141,000円。

◎20日例会当番は沢辺、坂本会員です。

【記念卓話】

講師紹介 山川会長

1947年、兵庫県のお生まれ。92年、富士見RCに入会。2009年、第35代会長。11年、地区第2Gガバナー補佐。12年、新世代部門委員長。2才でお父様が他界、おじい様は内科医院をされていました。1972年、順天堂大学医学部卒業。82年、富士見市に坂本整形外科医院を開業。医和会理事長、厚生労働省東京労働基準局労務委員等、幅広くご活躍。木曜以外、日祝日も診療。毎日300人以上が来院する医院の院長としてスタッフ共々多忙な日々を送り、多くの患者に慕われ尊敬されている、現代の「赤ひげ」先生です。

ガバナー公式訪問例会 記念卓話

2014-15年度 国際ロータリー 第2570地区ガバナー
坂本元彦様 (富士見RC)

兵庫県、山陰の田舎で生まれ育ち、家は内科医をやっていました。父が亡くなり、孫が跡取りをするだろうと、祖父が学費を出して東京の大学を出た。本来なら帰らなければいけなかったのでしょうかけれども埼玉で開業。その時、東京に居た叔母が「埼玉で開業したんだって？ それは先祖返りしたようなものね」と言うので、聞くと、兵庫県の前、私の家は500年位広島に居て、その前は埼玉の児玉に居たらしいのです。広島では「児玉」姓



で、明治維新の時に「坂本」に変えて兵庫に移ったのだそうです。それを聞いて、より以上に埼玉に愛着が出て、地元のためにも頑張らなければならないと思っております。

創立50周年の飯能RCさん、おめでとうございます。日高RCさんとの合同例会。どういふ方達かなと思ひ、入口から入って参りました。何事もファースト・インプレッション、最初の印象というものがあって、皆様のお顔を見ると「素晴らしい方ばかりが揃っているな」という感じが今はしております。

先程は入会3年未満の会員、会長さん等とお話させて頂きましたが、やはり伝統と格式のあるまちだなと感じたわけです。

私がここに来た目的は、皆様に、兎にも角にも「ロータリーっていいもんだね」という事です。先輩のロータリアンが沢山いらっしゃる中、今さらおこがましいのですが、お役目でございますのでお話をさせて頂きたい。

ガバナーになるには1週間、今年は米国サンディエゴで研修を受けました。RI会長・ゲイリーC.K.ホアンさんは台湾の実業家、エネルギーで素晴らしい方です。500数名集まるエレクトに対して毎日レクチャーされる中で、今年の方針を仰いました。

1つは「ロータリーに輝きを」のテーマについて。ゲイリー会長は言われました。「皆様お一人お一人がロータリアンとして是非輝く存在になって下さい」。クラブが輝く、地区が輝く、RIが輝くためには、皆様お一人お一人に自覚を持って頂き、「ロータリーとは何だろう」という事をもう一度よく考えて頂いて次の年へのステップとして1年を過ごして頂きたいとの事。

ゲイリー会長は毎日登壇され「寄付をして下さい」とよく仰いました。私達がそのように言うのはなかなか心苦しいところですが、世界の会長が毎日そう仰るといふのは、現実的な意味合いからも、我々のRCはそのような事から成り立っているという事です。

ご存知のように「RI」と「財団」があり、財団は「ロータリーのエンジン」、そして「ど

※次週の例会案内は省略。

のように操縦するか」はガバナーや会長が考えます。その燃料となるものが会費であり寄付でありお金です。RI 会長が毎日のように仰っているという事は我々は避けて通れないということでしょう。是非ご協力の程お願いしたいと思っております。

ゲイリー会長は「増強が大事」と仰いました。台湾のクラブ会長の時、手っ取り早い方法として、自分達の奥様方を入会させたとの事です。「すぐに倍になりますよ」「帰ってから皆に話して、やって下さい」と言われましたが私は日本ではそぐわないのではないかと思います。皆様の中で、四六時中、奥様と一緒に居たいという方がいらっしゃいましたら、是非ロータリアンとしてこの場にお連れするようお願いしたいと思います。

また、「公共イメージ」が大事と仰っていました。日本人は自分や自分の属する団体について「どうだすごいだろう」とは言い辛いが、基本的な考えがアングロサクソンのRI は外に向かってどんどんイメージアップをと仰る。イメージアップは「寄付」「増強」に通じ、ロータリーが「素晴らしい団体」だと分かれば「私も入ってみよう」という方もいらっしゃるでしょう。「どういう事をやっているのか」、例えば、ポリオ撲滅。それなら「私も寄付しようか」という事になる。どんなプログラムをやり、どういう結果になっているかを理解し、その事を周りの方によく仰って頂きたい。

「例会に行ってくる」と言うと、従業員の方がどう思っているか。大概そんなに良い事をして行っているとは思っていません。それは我々の宣伝不足から来るものです。情報を与えなければ誤解を生んでしまう事がある。

「公共イメージ」のアップはこれから非常に大事。家庭の中でRCの事を話されますか？家庭で「ロータリーっていいもんだよ」と言う必要があるでしょうし、それをROTEX、学友等に対しても同じように喜びを持ってやるようにして行かなければいけない。その1つが、先程の「自分のパートナーをロータリアンに」という事だと思えます。

ゲイリー会長は「ロータリーデー」という名前を付けた催しをと言われました。難しくやる必要はなく、今までやって来たクラブのプログラムがあれば、それに「ロータリーデー」と名を付けて人を集めて宣伝して下さいとの事。地区でもクラブでもやって良い。日本としては名古屋でやるそうで、各クラブ5名以上が参加された場合はRI 会長賞ポイントを差し上げるそうです。

また、ロータリアンの日頃の素晴らしい体験「ロータリー・モーメント」があれば、他クラブ、地区にも発表して頂きたいと仰って

います。感動した、再認識したこと等を脚色せず、正しい事だけを伝えて欲しいとの事です。50年の伝統のある飯能クラブですから過去においても素晴らしい出来事があったのではないかと思います。是非発表して頂きたい。

ゲイリー会長は、増強して、公共イメージをアップして、ロータリー・デーをやって下さいという事です。

職業奉仕、社会奉仕に対するお話はあまりございませんでした。昨年もそうだったのかもしれませんが、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕が無くなったわけではございません。皆様のクラブで今まで以上に盛り立てて頂くようお願いしたい。クラブ奉仕と言えば「例会出席」。当然、いの一番に大事にしないではいけません。例会は食事をするためのものではない。例会は食事をするためのものではない。例会では友だちを作る、親睦をする。親睦から何を学ぶかです。ただ仲良くなるだけではなく、話をして、ロータリーの奉仕の精神、ロータリーの心を学ぶとされています。親睦活動のツールがゴルフ、飲み会、旅行等であって、それは目的ではありません。今まで話をしなかった怖そうな先輩が居ても、ゴルフになれば声も掛けられる、お酒を飲めば親しく話も出来る。このような先輩の話を聴いてロータリーの神髄を分かっているというのが、親睦活動の主な目的だと思います。

昔ながらの柱「1業種1人」がおかしくなってきた事も、良いように取れば、本当に入って頂きたい方が同じ業種でも入れるという事です。ただ増強は数合わせではない。誰でも良いわけではありません。我々一人ひとりが立派なロータリアンになる事が増強に繋がると思っていますので、地区としては研修を今まで以上にやっていきたい。委員会も2増しました。

1つは「RI規定審議会対応委員会」。クラブで立法案を出せるよう努力して頂きたい。1地区から5件まで出せます。期日は12/31。もう1つは「RLI委員会」。会議等ではこの方法が良いとされています。リーダーが上意下達的に喋っても、聴いている方は眠くなってしまふ。一人ひとりが意見を言ってそれを集約していくなれば素晴らしい議論の場になるわけです。是非クラブでもやって頂きたい。会長エレクト、幹事に研修のお誘いが来ると思っています。この地から、地区の、川越や東松山まで行く時間が、最初は長く思えても、行く度に短くなって、何度も行きたい、という気持ちになって頂けると大変有難い。良い地区を作るためにも英知を集めて頂き、各クラブで頑張ってくださいと思います。